

中央政治集会

4・21 ガザ大虐殺やめろ！ ウクライナ侵略戦争弾劾 腐敗を極める岸田右翼反動政権を打倒しよう

四月二日、東京・足立区勤労福祉会館において、二〇二四年共産同(統一)委員会中央政治集会が開かれた。統一委員会の二〇二四年の政治闘争方針を提起し、それを確認する集会として勝ち取った。

「戦争・治安・改憲」は、マルクス・レーニン主義、共産主義運動の復讐の重要性を提起した。政治集会に寄せられた連帯メッセージを司会が紹介し、海外からは、フリン民族民主戦線(NDFP)、台湾労働人権協会、三里塚芝山連合空海反共連盟からは市東孝雄さん、共産主義者同盟京都委員会、沖縄労働共闘からのメッセージが読み上げられ、集会参加者の拍手で確認した。

二〇二四年政治集会基調報告を政治局の同志が力強く読み上げ、二〇二四年の闘争課題と共産主義運動を前進させることをカッチリと誓った。

二〇二四年政治集会基調報告を政治局の同志が力強く読み上げ、二〇二四年の闘争課題と共産主義運動を前進させることをカッチリと誓った。

4・14 「県民大集会」に1800名決起 うるま陸自訓練場断念の勝利で 辺野古新基地阻止へ決意



勝利感あふれる集会成为した(4・14 沖縄)

当初六日予定の大浦湾水 築く県民大集会」が四月一日、うるま市の大浦湾埋立て工事現場で開かれた。約1800名が参加し、辺野古新基地の建設を断念させるための決意を表明した。

集会では、糸数慶子共同代表の主催者発言と、徳田博人琉球大学教授による地方自治論という、困難を強要した辺野古新基地の最高裁判所判決を踏襲し、二〇二四年の政治闘争方針を提起し、それを確認する集会として勝ち取った。

「戦争・治安・改憲」は、マルクス・レーニン主義、共産主義運動の復讐の重要性を提起した。政治集会に寄せられた連帯メッセージを司会が紹介し、海外からは、フリン民族民主戦線(NDFP)、台湾労働人権協会、三里塚芝山連合空海反共連盟からは市東孝雄さん、共産主義者同盟京都委員会、沖縄労働共闘からのメッセージが読み上げられ、集会参加者の拍手で確認した。

二〇二四年政治集会基調報告を政治局の同志が力強く読み上げ、二〇二四年の闘争課題と共産主義運動を前進させることをカッチリと誓った。



集会参加者がインターナショナルを斉唱(4月21日 東京)

四月二日、京都府内で、機によりナショナルリズムが「すべての人が解放されるために、今こそ共産主義革命を！」と叫ぶ声が聞かれた。二〇二四年共産同の政治集会が開かれた。

司会が「現在、ウクライナ戦争、イスラエルによるパレスチナ・ガザでのパレスチナ人民虐殺という大きな二つの戦争の真只中にある」と述べ、このことは帝国主義の支配が揺らいでいることをあらわしている。日帝岸田政権の戦争攻撃を許さず、反戦、反基地、反帝国主義の闘いを強めよう」と呼びかけ、政治集会が開かれた。

連帯あいさつが行われ、改憲について「被害者等の個人情報秘匿する」という制度が拡大強化されたことについて、反弾圧の闘いを強めよう」と呼びかけ、政治集会が開かれた。

二〇二四年政治集会基調報告を政治局の同志が力強く読み上げ、二〇二四年の闘争課題と共産主義運動を前進させることをカッチリと誓った。

四月二日、京都府内で、機によりナショナルリズムが「すべての人が解放されるために、今こそ共産主義革命を！」と叫ぶ声が聞かれた。二〇二四年共産同の政治集会が開かれた。

司会が「現在、ウクライナ戦争、イスラエルによるパレスチナ・ガザでのパレスチナ人民虐殺という大きな二つの戦争の真只中にある」と述べ、このことは帝国主義の支配が揺らいでいることをあらわしている。日帝岸田政権の戦争攻撃を許さず、反戦、反基地、反帝国主義の闘いを強めよう」と呼びかけ、政治集会が開かれた。

連帯あいさつが行われ、改憲について「被害者等の個人情報秘匿する」という制度が拡大強化されたことについて、反弾圧の闘いを強めよう」と呼びかけ、政治集会が開かれた。

二〇二四年政治集会基調報告を政治局の同志が力強く読み上げ、二〇二四年の闘争課題と共産主義運動を前進させることをカッチリと誓った。

四月二日、京都府内で、機によりナショナルリズムが「すべての人が解放されるために、今こそ共産主義革命を！」と叫ぶ声が聞かれた。二〇二四年共産同の政治集会が開かれた。

司会が「現在、ウクライナ戦争、イスラエルによるパレスチナ・ガザでのパレスチナ人民虐殺という大きな二つの戦争の真只中にある」と述べ、このことは帝国主義の支配が揺らいでいることをあらわしている。日帝岸田政権の戦争攻撃を許さず、反戦、反基地、反帝国主義の闘いを強めよう」と呼びかけ、政治集会が開かれた。

連帯あいさつが行われ、改憲について「被害者等の個人情報秘匿する」という制度が拡大強化されたことについて、反弾圧の闘いを強めよう」と呼びかけ、政治集会が開かれた。

二〇二四年政治集会基調報告を政治局の同志が力強く読み上げ、二〇二四年の闘争課題と共産主義運動を前進させることをカッチリと誓った。

共産同

すべての人が解放されるために、今こそ共産主義革命を！

2024年共産同関西政治集会

2024年の政治運動方針が確認された(4月21日 京都)

〈AWC資料〉 共同行動に関する決議

地域の政治的・軍事的緊張がますます強まるなかで、私たちはアジア太平洋地域の民衆団体は、帝国主義の支配に反対し、以下のような領域で共同の闘いを進めていく。

(1) アジア太平洋および全世界での帝国主義の戦争策動に反対する。
・日米韓による三国軍事同盟の形成に反対する。
・日米比の軍事協力強化に反対する。フィリピンでの米軍の駐留および比日同盟化協定の締結に反対する。
・アジア太平洋地域の軍事緊張を拡大する米韓同盟の強化に反対する。
・独裁的・親資本の政府と軍事独裁に反対する。
・沖縄・辺野古での新米軍基地建設阻止闘争、韓国・ソウル、日本のT-H A/D撤去闘争、日本・京丹後での米軍Xバンドレーダー基地反対闘争や韓国米軍基地強化反対闘争など、米軍基地の新設・強化に反対するアジア太平洋各地の民衆の闘いを支持する。
・駐留米兵による凶悪犯罪とその不処罰を弾劾する。
・(3) 日本の軍備拡張および歴史歪曲に反対する。
・日本政府による急速な軍拡および平和憲法改悪策動に反対する。自衛隊の海外派兵に反対する。
・琉球弧での自衛隊基地の新設・強化に反対する。
・日本軍性奴隷制度被害者や強制動員被害者など、日本帝国主義による侵略戦争、占領・植民地支配のすべての被害者に対する日本政府の公式謝罪と国家賠償を求め、
・(4) 核兵器と原子力発電所を廃止する。
・大団による核独占体制に反対する。

〈AWC資料〉 AWC日本連第29回総会へのメッセージ

2024年AWC日本連を送ります。
ロシアとウクライナの戦争は二年間継続されており、今も破壊と犠牲の災禍が続いています。ウクライナとヨーロッパ、そしてロシアとの対峙は、新冷戦体制をよりいっそう強化しています。イスラエルのガザ地区に対する虐殺とシエラレオネに対する屠殺が、米韓と中国は、熾烈な経済戦争を展開しており、中国と台湾の両岸関係も緊張の中に陥っています。朝鮮半島の南北関係もまた、緊張の高まる局面が作り出されており、いつ戦争が起これば第三次世界大戦が起これるかもしれないという心配が大きくなっています。

韓国は、ユン・ソンニョル政権が韓米軍事経済同盟を強化し続ける中で、ウクライナに米軍を上回る弾薬を供給することで、韓国とロシアの関係も悪化し、米韓の対中経済封鎖に際して、特に台湾と中国の両岸問題を韓国大統領が論じたことで、韓中関係もさらに悪化しています。これまで三〇年間の韓中の貿易関係が黒字であったものが赤字に転じ、それともうひとつ韓国の経済成長の沈滞も主な原因になっています。

ユン・ソンニョル政権は、対北強硬政策によって、又在野政権の時代に結ばれた9・19軍事合意を破棄し、南北交流を全面的に中断しました。朝鮮民主主義人民共和国もまた、韓国のユン・ソンニョル政権に反対し、強硬な軍事的対決を強めており、ミサイルの発射と核兵器の開発を拡大しています。南北の軍備競争が加速している中で、韓国は、イスラエルな多への

読者からの手紙

友人知人らが、このままたない機会に集い、二〇名を超える参加がありました。

まず狭山駅から常土見集会所へ。石川一雄さん・早智子さん・部落解放同盟埼玉県連役員の方が迎えて下さり、交流をしました。

石川一雄さんは「いよいよ『今度こそ』と何回も言ってきたかわからない。大野裁判長が退官してしまえば、家令裁判長に期待をかけるわけじゃないけど、今度こそ狭山再審に向けて欲しい。皆さんから家令裁判長へ声を届けて欲しい」と訴えられました。そして「自分がかまが杖を頼りにする日がくると思わなかったが、今は杖が必要と、最近の体調についても話されました。

石川早智子さんは、「石川は体力が衰え、遠出を控えている。だから今日の七夕のイベント、狭山現調ではなかった。田代地域を越えて

四面から

福祉の後退、貧富の差の拡大が進んでいる。今展開されている新冷戦体制は、核兵器の使用を含む戦争の危機と、氣候危機に打ち対峙するための気候ボーン・ネットワークの代わりに、原発を拡大する方向へと後退しつつあります。全世界に労働者・農民・女性・リタイア・移民は、搾取と差別に苦しんでいます。昨年一月に韓国で開かれたAWCICC会議で、このような情勢を共有し、連帯闘争を決議したように、グローバル化した新自由主義闘争を決議した内容を実践し、廃棄させるために、闘争に立ち上がらなくてはなりません。あらためて二〇二四年AWC日本連の総会に連帯を送ります。(AWC韓国委員会代表 ホ・ヨンソク)

労働者民衆を組織し、戦争ではなく平和、核振興ではなく脱核を。氣候危機に闘い、汚染水問題については、労働者民衆の闘争を通じて解決は遅いので、労働者民衆の闘争を組織していきましょう。

この言葉のように、二〇二四年の六月アジア共同行動を韓国、フィリピン、インドネシア、米国の労働者・民衆が共同して日米韓の帝国主義と自国の支配階級に対して闘い、国際連帯を強化する闘いとして取り組んでいく。韓国からの闘争仲間を迎えて、日米韓の三角軍事同盟のもとで進められる三国の共同軍事演習に反対し、岸田政権と尹錫悦政権と闘う日韓の労働者民衆の連帯を深めよう。と同時に、原発全廃のための闘い、汚染水問題については、日韓共同行動も重要だ。昨年の六月アジア共同行動の中で経産省前テント広場での抗議行動と、同日に日韓同時行動としてソウル日本大使館前でも同趣旨の行動がAWC韓国委の呼びかけで行われた。今年の六月アジア共同行動を、韓国や日本の反原発運動が抱えている問題や共通の課題をめぐって議論することができ、市民会として、労働者・民衆の中を広げていく。

石川一雄さん、早智子さんに会いにいこう！ 狭山現地調査に参加

四月一四日、部落解放同盟田代民共会が呼びかけに、狭山現地調査が行われました。田代地域を越えて

く「石川さんに会いに行く」と書いてあったことが本当に嬉しかった。感動したと手紙述べられた。間近に行われようとしている五九回定三者協議で、レゼンが回避されていることについて、「検察側は全く抵抗しづらいが、家令裁判長は『やめよう』と言ってくれた。これは大きな山場、チャンスだと思う。青年だった彼は、狭山闘争渦中の五月三日にお母様を狭山を閉じ続ける」と話され、胸に響くとききました。

皮草産業の町木下川らしいプレゼントを石川さんに贈ると用意された、撤去ならぬ撤去が手渡される。石川さん・早智子さんと共に大変喜んでおられました。

富士見集会所を後にして、いよいよ狭山現地調査です。「ここを歩いたことで強核・殺害し、このように強核を連発を連発することによって」と警察が描いた筋書きによって、石川



地元で「荒神さま」と呼ばれる神社で説明を受ける (4月14日)

